

# 新潟県中越沖地震の発生を踏まえた福島第一、第二原子力発電所における地質調査について

## 1. 調査目的

平成19年7月16日の新潟県中越沖地震の発生を踏まえ、これまでの地質調査をさらに補完し知見を拡充するため、発電所の周辺海域、周辺陸域及び敷地内の調査を実施する。

## 2. 調査概要

### (1) 調査範囲

- ・ 右図に示す範囲について調査予定。
- ・ 詳細な調査位置については、既往の調査記録や最新の知見を踏まえ今後決定。

### (2) 調査実施時期（予定）

- ・ 周辺海域：平成19年12月上旬～平成20年3月末
- ・ 周辺陸域：平成19年12月上旬～平成20年3月末
- ※ 地表地質調査については、耐震安全性評価に伴う地質調査として、現在実施中。  
(平成19年6月8日お知らせ済み)
- ・ 敷地内：平成19年10月上旬～平成20年3月末

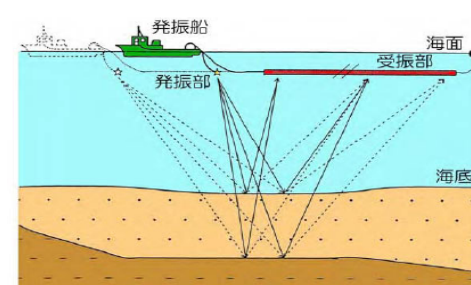
### (3) 調査方法

#### a. 周辺海域

海上音波探査を実施し、周辺海域の地下構造を評価。

##### <海上音波探査>

調査船から海中に音波を発振し、海底下の地層からの反射波をとらえ、解析を行うことで、海底下の地下構造を調査

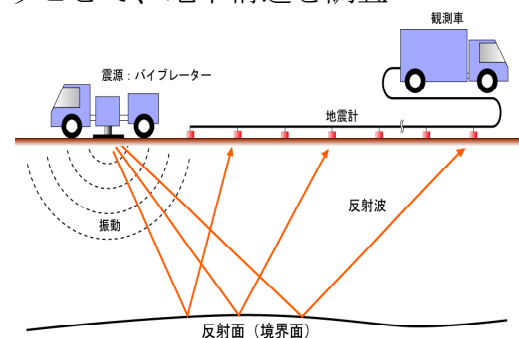


#### b. 周辺陸域

地下探査を実施し、発電所の周辺陸域に加え、双葉断層を含む陸域の地下構造を評価。

##### <地下探査>

起震車を用いて、地下に振動を与え、地層からの反射波をとらえ、解析を行うことで、地下構造を調査



##### ※ 地表地質調査

地上で地層が直接見られる場所（露頭）などを観察し、地質を調査

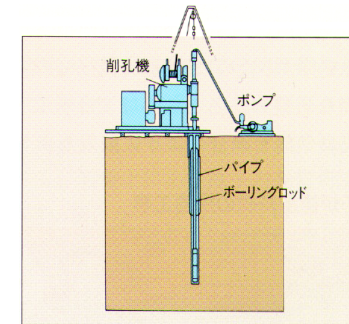


#### c. 敷地内

ボーリング調査等を実施し、敷地内の深部を含む地下構造を確認・評価するとともに、地盤の性質を確認して沈下や液状化などについても評価。

##### <ボーリング調査>

地盤を構成する岩石などを棒状のコアとして連続的に採取し、これを観察して地質の状況を調査



##### <地盤物性試験>

ボーリング調査により採取した試料を実験室内で力を加えたり変形させるなどの方法により、地盤の強さや硬さを評価する試験

福島第一、第二原子力発電所地質調査範囲図

